

小平市議会定例会一般質問通告書

質問件名 公共施設の複合化と避難所の設置、運営の考え方について

質問要旨

今年で東日本大震災から 10 年が経ちます。被災地では地震直後から学校や市民センターなど避難所に多くの人が避難しました。また大型台風や豪雨による災害も頻発しており避難所は災害時に安心できる居場所であり被災した人にとってなくてはならないものです。

災害時の拠点ともなる学校や公民館、地域センターは避難所や二次避難所（福祉避難所）にも指定されており、公共施設の統合や複合化は避難所の設置・運営にも影響を及ぼします。

小平市公共施設マネジメント推進計画の第 2 章の「配置の考え方」の中で、地域対応施設は拠点化を図り小学校を中心とした複合化を進めるとあり、延べ床面積の 6 割を占めている小・中学校について将来的に小学校は 19 校を 14 校程度に、中学校は 8 校を 7 校程度にしていく必要があるとあります。現在は小平第十一小学校が、花小金井北公民館、花小金井北地域センター及び学童クラブの機能を小学校へ複合化する方向性が示され、「(仮称)小平第十一小学校の更新等に関する基本計画」の策定に向けて準備が進められています。

今後、市立小・中学校を更新・複合化していくうえで、避難所が充分確保できるか懸念しています。市としての避難所の設置・運営の考え方について以下質問をします。

- ① 市として将来的に避難所の数は幾つ必要と考えているか見解をお示してください。
- ② 小学校に公民館や地域センターを複合化した際、二次避難所をどのように運営していくのでしょうか。
- ③ 公共施設マネジメント推進計画にある「避難所となる公共施設では平常時と異なる非常時の機能なども含めて検討していきます」とありますが検討の内容をお示してください。
- ④ 避難所として公共施設を考えたときに統合や複合化をした場合、拠点となる場所まで遠くなることがありますが高齢者など要配慮者の避難所までの移動についての見解は。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

2021 年 2 月 10 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 山崎 とも子

受付番号【 】

| | | | |
|----|----|----|----|
| 26 | 25 | 24 | 23 |
| | | | |

— (/)